

O's News

2022

5



めまいに隠された恐怖:

めまいを初発とする脳梗塞や脳腫瘍

脳神経外科 細川 真

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回はめまいについてのお話です。

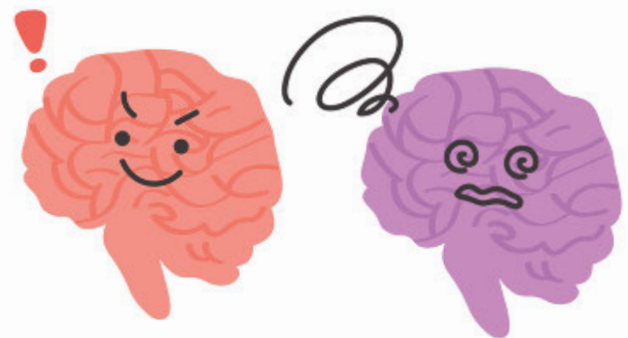
めまいを感じて、すぐに病院に行こうとする方は少ないのではないのでしょうか。めまいは、誰もが日常に遭遇するありふれた症状の一つです。重大な病気と結びつけて考えることは少ないかもしれません。私たちが「めまい」とひとことに表現する感覚は、実は詳しくみると様々です。目の前の景色が回るような感覚、船に乗っているような浮動感、一時的に力が入らないような感覚、目の前が暗くなって倒れそうになる感覚、これらは全て「めまい」と表現されるものです。症状がこれだけ多彩ですから、原因となる体の異常も様々です。バランスを司る三半規管の異常や血圧の異常であることも多いですが、中には脳や脳の血管の異常であることもあります。

そして脳の異常が原因で起こるめまいの中には、命に関わる重大な病気もあります。脳幹部と呼ばれる生命維持に大きく関わる場所の異常では、めまいが起こることがあります。椎骨動脈と呼ばれる大きな血管が

損傷したり、小脳に脳梗塞が起こったりした場合もめまいが起こることがありますが、これも時に命を脅かすことがあります。

最初の症状が軽いめまいだけでも、実は重大な病気が背景に隠れていることがあるのです。また、直接的にめまいの症状を起こす場所の異常でなくても、MRIを撮ってみたところ脳腫瘍が指摘されたり、脳動脈瘤が偶然に指摘されたりといったことも、私たち脳外科医はよく経験しています。

もし時々めまいがあったり、経験したことのないようなめまい感があったりした時は、どうぞお気軽にご相談ください。もしかしたら、その症状は脳からのSOSかもしれません。



新入職医師の紹介



茶谷(ちやたに) めぐみ

所属診療科:脳神経外科
趣味:読書

出身地	宮城県
専門分野	脳外科全般
認定資格	脳神経外科指導医・専門医 脳卒中専門医
所属学会	日本脳神経外科学会学術評議員 日本脳卒中学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳卒中の外科学会
興味のある分野	脳卒中外科

患者さまへの一言

最新の治療を日々学び、それを患者さまお一人お一人にあわせ提供できるよう努めさせていただきます。

今日からはじめる
確認のフレーズ



医療安全管理室
医療安全管理者 原 麻夕美

自分が呼び出した患者さんの検査を実施中、検査の画像から違う患者であることに気づいた、配膳時に食札で名前を確認したものの、その患者さんだと思い込んで違う方に配膳してしまった、内服薬の準備中、セットされていた薬が違う患者さんの薬だったことに気づいたなどを患者誤認といいます。

患者誤認の原因は、その患者さんだとの思い込み、患者さん自身にお名前を名のってもらわなかった、リストバンドでの確認を怠ったなどです。どの事例も幸い事故にはなりませんでしたが、患者誤認は重大な結果を招く可能性を否定できません。

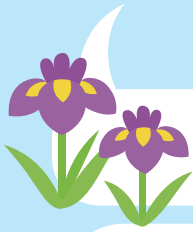
当院では、今日から始める確認のフレーズで患者誤認の防止に努めています。

「私は、〇〇です。今から(診察・検査・お薬をお渡し・)します。お名前を教えてください。」

と全職員で取り組んでいます。お名前の確認にご協力をよろしくお願いします。

二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子



5月(皐月)

花木、藤、ツツジ…春の桜から次の季節へ様々な花が咲き誇ります。ウォーキングやお散歩に気持ちの良い季節ですね。



六節気
穀雨

4/30~5/4(第十八候) 牡丹華 / ばたんはなさく

「立てば芍薬、座れば牡丹」たっぷり咲き誇る牡丹の咲く頃です。5月4日は「みどりの日」。「自然に親しむことや感謝する日」として2007年から国民の祝日になりました。生物学者でもあり自然を愛した昭和天皇にちなんで名付けられました。



七節気
立夏

5/5~9(第十九候) 鼃始鳴 / かわずはじめてなく

夏の兆しの声♪蛙が鳴き始め、若葉が光り、薫風の気持ちよい毎日です。男の子の成長と出世を願う端午の節句。中国には「龍門」という激流があり、そこを登ることのできた鯉は龍になって天に登るという「登竜門」伝説がありました。江戸時代にこの伝説から生まれた風習が「鯉幟」です。



農作業に忙しい時期です。ゴーヤ苗も植え時。グリーンカーテンが楽しめます。

5/10~15(第二十候) 蚯蚓出 / みみずいずる

みみずが目を覚まし、地上に這い出し始めます。4~5月にかけて花の絨毯のように一面にピンク色に咲くシバザクラ(芝桜)。北アメリカ原産で英名を「モフロックス」。全国に芝桜の名所があり、「富士芝桜まつり」では80万株の芝桜と富士山が圧巻です。



5/16~20(第二十一候) 竹笋生 / たけのこしょうず

わかめと竹の子の煮物「若竹煮」はいかがでしょう。どちらも食物繊維が豊富で腸内を刺激、老廃物を排出する効果があります。たけのこを調味料で煮含めた後、わかめを加え軽く温め、木の芽を添えてできがり♪



八節気
小満

5/21~25(第二十二候) 蚕起食桑 / かいこおきてくわをはむ

「お蚕様」と呼ばれ、数え方も牛や馬と同じ一頭二頭と数えられていた蚕は日本の近代化を支えました。露地物のアスパラガスは今が旬です。その名も「アスパラギン酸」が豊富。筋肉疲労でたまった乳酸をエネルギーに即効で変換してくれるうれしい効果があります。

生命が満ちあふれる季節、秋にまいた麦が実り風に揺れます。

5/26~30(第二十三候) 紅花栄 / べにばなさかう

染料になる紅花が咲く頃です。緑にあふれるこの季節、あちらこちらで楽しそうな鳥のさえずりが聞こえます。黒と白のコントラストの「しじゅうから」。山や市街地でもよく見かけ「ツープ、ツツピ、ツツピ」と鳴きます。四十の雀と書いて「しじゅうから」群れることからこの名前に。



森林浴のすすめ

緑のまぶしい気持ちの良い季節になりました。森林に入り爽やかな空気を胸いっぱい吸い込むと、「森の香り」に包まれますね。この「森の香り」は「フィトンチッド」という揮発性物質で、植物自身が、病気や害虫から身を守るために発しているものです。驚きですね！この「フィトンチッド」は人間にとってストレスの軽減、リラックス効果をもたらす、この森林浴効果は科学的にも実証され、林野庁からも提唱されています。森へ、リフレッシュに出かけませんか♪

外来担当医表

(血)血管内治療 (顔)顔面の痛み・けいれん (FUS)集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	茶谷	河田
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	茶谷	河田
2診	午前	高橋〈顔〉	砂田	角田	富士井	担当医〈血〉
	午後	高橋〈血〉	脊椎・脊髄外来 山本	角田	—	脊椎・脊髄外来 山本
3診	午前	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	細川
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	—	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	神経内科 小坂田 第4週 てんかん 田村	第1・3週 神経内科 阿部
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	神経内科小坂田(FUS)	脊椎・脊髄外来 山本	第1・3週 神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	第1・3週 神経内科 阿部

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 ※毎週金曜日13:00~ 7診 麻酔科 鈴木 (2022.4)
※第1・3週金曜日9:30~12:30、13:30~16:30 6診 神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.246

木花診療所

院長:丸山 信之



【認定資格】脳神経外科学会 専門医、機能脳神経外科学会 DBS技術認定医、日本てんかん学会 専門医、産業医

【診療科目】脳神経外科、脳神経内科、てんかん

【住 所】明石市朝霧南町2丁目488-74

【電 話】078-913-3776

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
13:30~15:30	★	★	★	★	★	/	/
16:30~19:00	○	○	○	/	○	/	/

★訪問診療

休診日:木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



丸山院長からのメッセージ

以前に大西脳神経外科病院に勤務しておりました丸山です。朝霧駅前で開催しました。よろしくお願いいたします。

No.247

くどう甲状腺クリニック

院長:工藤 工



【認定資格】日本内科学会総合内科専門医、日本甲状腺学会 認定専門医

【診療科目】内科

【住 所】明石市相生町2丁目2-18 末定ビル3F

【電 話】078-915-2522

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:30	○	○	/	○	○	△	/
14:00~17:00	◎	○	/	◎	○	△	/

◎15:00~18:00 △第3・第5日は休診

休診日:水曜、第3・第5土曜、日曜、祝日



工藤院長からのメッセージ

2022年2月に甲状腺専門のクリニックとして開院しました。甲状腺機能検査・超音波検査等は当日に結果をお知らせします。甲状腺腫瘍に対する細胞診も行っています。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘

